



## 快適で安心できる住宅に住み続けるために

耐震診断によって倒壊する可能性があるると判定された場合には、耐震改修を検討し、住まいを丈夫にする改修計画を立て、次に、改修計画に基づいて、地震に弱い部分を補強する工事を行います。

ステップ 1 **耐震診断**  
どの部分が地震に弱く、またどの程度地震に耐えられるかを知っておきましょう

ステップ 2 **耐震改修計画**  
地震被害の可能性が高いとわかったら、住まいを丈夫にする改修計画を立てましょう

ステップ 3 **耐震改修工事**  
地震に弱い部分を補強する工事で、安心できる住まいづくりを目指しましょう

### 〈耐震改修工事を行い、住宅の弱点を克服〉

耐震改修では、耐震診断によって見つかった弱点を補うように改修計画を立てることが効率的です。例えば、地震に強い壁が少なければ多くする、筋かいの端部に金物を設置する、柱と梁や土台との接合部を金物で補強する劣化や腐朽をしていればそこを直すなどの補強方法・補修方法がある。耐震診断や耐震改修等に補助が出る、お住まいの自治体にご相談ください。

### 〈耐震性を高める6つのポイント〉

Point 1

壁の補強・増設とバランス

～まず、地震に耐えるには強い壁とバランスが大切～

Point 2

接合部の補強

～柱・梁・筋かいがしっかりとまっていないと地震にはかなわない～

Point 3

基礎の補強

～脚元もきちんと固める～

Point 4

水平構面の補強

～床や屋根などもきちんと固める～

Point 5

劣化部材の補修

～木材が腐ったりしろありに食われていたら元も子もない～

Point 6

住宅の軽量化

～建物を軽くすることは、耐震性を高めることにつながる～



事務所協会東三河支部  
2次元コード

